

まん延防止等重点措置適用決定をうけて県民・事業者の皆様への要請(令和4年1月7日)

○ 本日は、まん延防止等重点措置の適用を受けて、皆様への要請についてご説明します。

スライド 2

○ 最初に、現在の感染状況ですが、昨年12月22日に感染者の発生があつて以降、非常に急速に感染が拡大しています。

○ 昨日公表までの発表数では、前2日間の感染者数の2倍以上の感染者が次の2日間で発生している状況でしたが、本日公表分を考慮すると、その拡大スピードはさらに増しているようにも見えます。

スライド 3

○ 昨日もお伝えしましたが、このペースで感染拡大が続くと、一日8000人発生する推計も出ており、このままでは早い段階で医療がひっ迫する恐れがあります。

スライド 4

○ そこで、医療提供体制への負荷回避に向け、早い対策を実施すべく、感染レベルを2に引き上げ、さらに国に対してまん延防止等重点措置の適用を要請しました。

○ そして、本日、国においてまん延防止等重点措置の適用が決定されました。

スライド 5

○ 対象区域は広島市、呉市、竹原市、三原市、尾道市、福山市、大竹市、東広島市、廿日市市、江田島市、府中町、海田町、及び坂町の10市3町です。

○ 主な判断基準は、人口規模が10万人以上と一定の規模以上で、かつ、感染拡大している市及びそれらの市と生活圏が一体である市町です。

○ 昨日の会見時には3市2町としていましたが、ご存知のとおり、日々感染状況が急速に悪化しており、本日公表分の数値を始めとしたデータを用いた検証の結果、区域を拡大すべきであると判断しました。

スライド 6

○ 期間は、1月9日から1月31日までです。

○ 区域も改めてこちらに掲載しています。

スライド 7

○ 要請の内容は、5時から20時までの営業時間短縮と、お酒の提供を行わないこととします。

- 金額や要件はご覧の通りです。
- 今回の第7期は、ゴールド認証店、非認証店における違いはありません。
- 休業・時短営業に関わらず、支給額は同一です。
- また、同一グループであっても1つのテーブルでの利用は4人以内としてください。今回、ワクチン検査パッケージの適用はありません。
- なお、引き続き、早期給付(先払い)を実施することとし、定額32万円を支給します。
- 猶予期間について、まん延防止措置の適用日は、決定の翌日から想定していましたが、中一日をおいて1月9日から適用開始となりましたので、周知の期間はあるとし、1月10日までを猶予期間と致しました。

スライド 8

- 集中対策の影響を受ける県内中小事業者を幅広く支援する、県独自の「頑張る中小事業者月次支援金」について国の月次支援金は10月分をもって終了しましたが、県独自制度として改めて実施することとします。

- 国の月次支援金の後継制度である、「事業復活支援金」と併せて受給することで、昨年5月から10月まで実施していた、「頑張る中小事業者月次支援金」同額以上の支援となります。

スライド 9

- イベントの開催要件を変更します。1月11日以降のイベントに適用します。
- ワクチン検査パッケージ制度は適用しません。
- 国の方針では、制度を適用するイベントは、まん延防止であっても人数上限を撤廃できるものですが、今の感染状況においては、制度適用はしません。

スライド 10

- 外出については、昨日要請している通りです。
- 明日から3連休ですので特に注意してください。

スライド 11

- 往来についても昨日の要請のとおりです。
- 本日、沖縄県、山口県がまん延防止等重点措置の適用が決定されましたのでこの2県との往来は、最大限、自粛をお願いします。
- 県外はもとより、県内の移動であっても、重点区域とそれ以外の地域との往来は最大限自粛をお願いします。

スライド 12

○ また、昨日発表しましたとおり、現在の感染状況により、 全県で県民の皆様へ外出の削減を要請しており、ご覧の2つの事業の取り扱いを変更(1月7日から停止)いたしました。

スライド 13

○ 続いての要請です。引き続き、感染防止対策の徹底をお願いします。

○ 新成人の皆様は、式典が延期された方も含めて飲み会やお茶など、複数集まったの飲食は延期をお願いします。

スライド 14

○ 現在、無症状であっても県内12カ所のPCRセンターや200以上の登録薬局で検査ができます。

○ この感染の拡大の状況からすると、感染力がこれまでにないほど強くなっています。

○ 知らない間に、家族や友人、職場の同僚の方にうつしてしまわないように気になることがあれば、積極的に検査をしてください。

スライド 15

○ 今後の見通しについて、先ほどもお伝えしましたが、今日は429人とこれまでの最大数となっており、過去最速の増加が止まりません。

○ 右のグラフのオレンジの線が本日の速報値を反映させたものですが、昨日お伝えした、1日8000人のシミュレーションを上回るペースです。

スライド 16

○ オミクロンは、重症化しないのでは、という声を聞きます。

○ 確かに、オミクロン株が先行して感染拡大している沖縄県のデータからも、オミクロン株に置き換わることで症状が悪化する確率が上がるということはないことが分かります。もしかすると、 これまでよりも軽症で済むケースが増えるかもしれません。

○ しかし、症状悪化率が従来の10分の1や100分の1まで 減少するとは考えにくく、仮に4割減少していた場合でも、感染者数が倍以上発生すれば従来よりも多くの方において症状が悪化することになり、医療ひっ迫のおそれが高まります。

○ さらに、現在の沖縄県のデータは若年層に偏ったデータであり、高齢者への感染が広がった場合の実際のリスクは未知数です。

○ 現時点で、オミクロン株の症状は軽いので、感染者が増えても大丈夫だとは思わないでください。

スライド 17

- 今回の要請で、飲食店を始めとした事業者の皆様には負担をおかけすることになります。
- 県民の皆さんも、また行動制限か、とがっかりされていると思います。
- 我々もできるだけ避けたかった事態に残念に思っています。
- しかし、前回の波の倍の感染者が発生しても耐えられるよう、医療・療養体制を準備してきましたが、このままのペースで増加すれば、早い段階でその体制では受けきれなくなり、通常の医療にも影響がでる恐れがあります。

- 皆様の健康を守るため、どうかご理解とご協力をいただき、お一人お一人が今、できる行動をとっていただきますようお願いいたします。